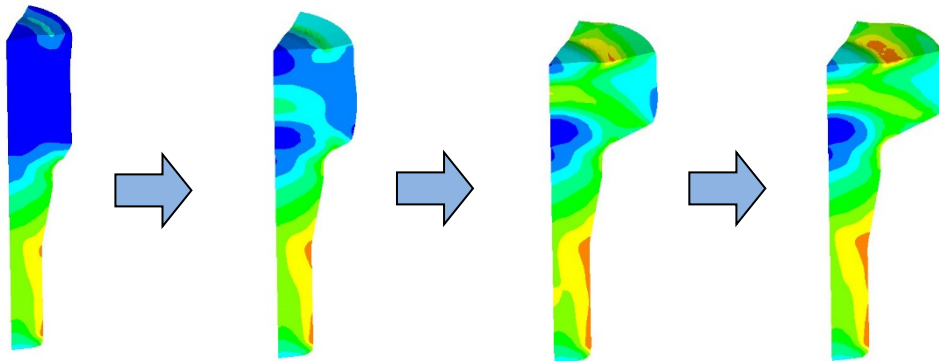
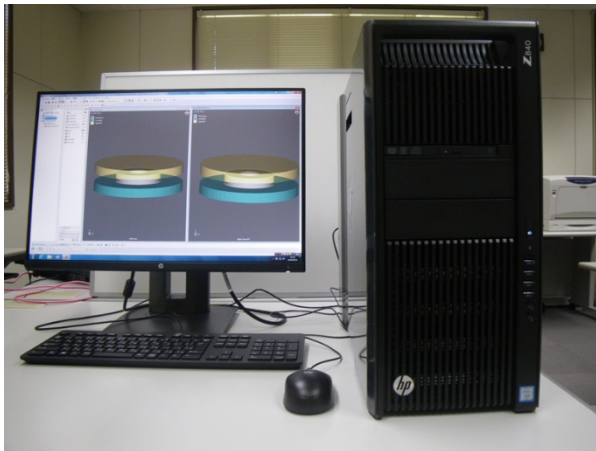


## 塑性加工（プレス成形）の検討

事例	自動車部品のプレス成形法を検討しました。	
試験内容 と結果	<p>自動車部品や電気機器部品は、同じ部品形状が使われることが多いため、切削などによる加工法でなく、プレス機を用いて連続的に成形されています。プレス成形は、材料を金型で押すことで部品形状を成形する加工方法ですが、実験によって部品形状に成形できることが確認されてから、実際の生産が始められます。</p> <p>実験は、金型の破損とその対策を繰り返しながら、高額な金型を試作し部品形状に成形できるかを検討していくため、大きなコストを費やします。</p> <p>金属成形解析システムは、コンピュータによる数値シミュレーションを行いながら、部品形状の成形方法や金型の破損対策などを検討できるため、実験回数を削減することができます。</p> <div style="text-align: center;">  <p>金属成形の進行過程（シミュレーション）</p> </div>	
使用装置		<p>メーカー名：エムエスシーソフトウェア(株) 型式：Simufact Forming</p> <p><b>【機器の概要】</b> 金属の変形が進行し成形が完了するまでを、追従して計算を行い成形工程や金型構造などを検討することができるシステムです。</p>
手数料 使用料	<p>手数料：金属成形解析システムによる解析 使用料：金属成形解析システム</p>	<p>2, 200円／時間 1, 500円／時間</p>